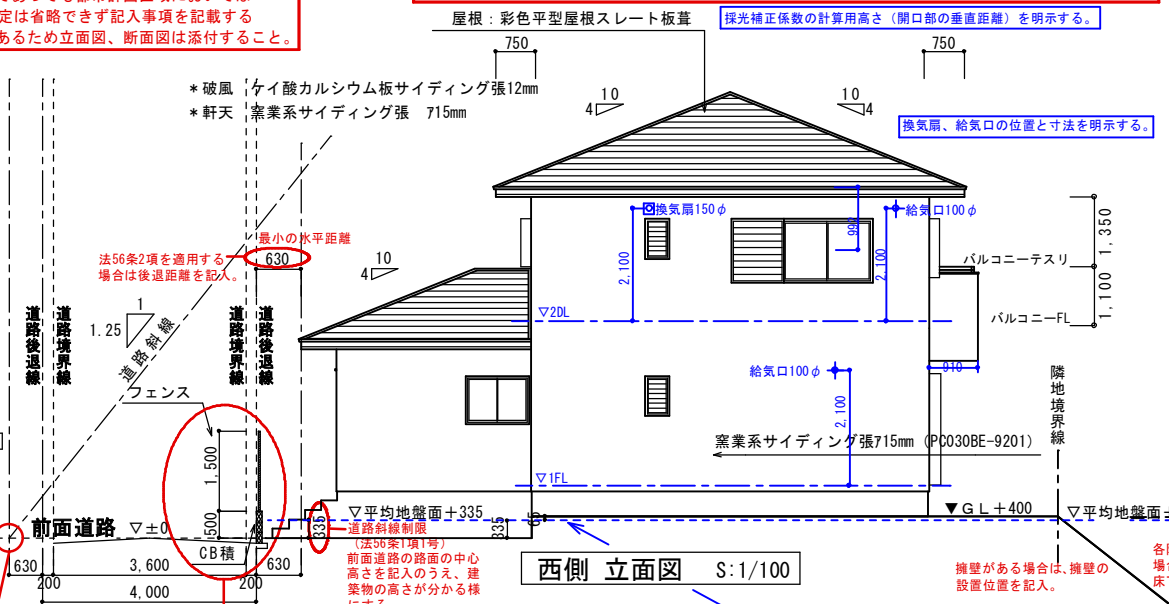


※特例であっても都市計画区域においては  
集団規定は省略できず記入事項を記載する  
必要があるため立面図、断面図は添付すること。

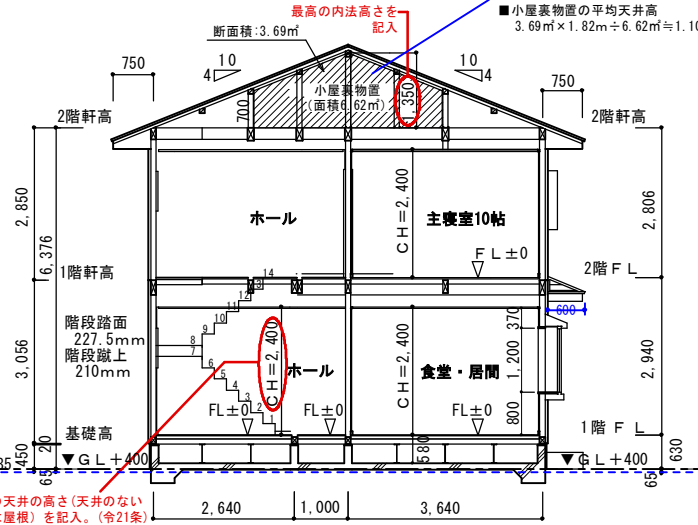
※配置図などに記入した各部分の高さ、後退距離などの数値に不整合がない様に十分注意すること。

■小屋裏物置の面積が直下階の床面積の1/8を超える場合は、  
壁量計算（図面0-10）の床面積に次の面積を加算  
加算する面積 =  $\frac{\text{小屋裏物置の平均天井高(m)} \times \text{小屋裏物置の床面積}}{2.1\text{m}}$

道路斜線のチェック位置  
建築物部分の高さを記入。  
換付式を記入。  
後退緩和を適用する場合は  
場等の構造高さも記入。



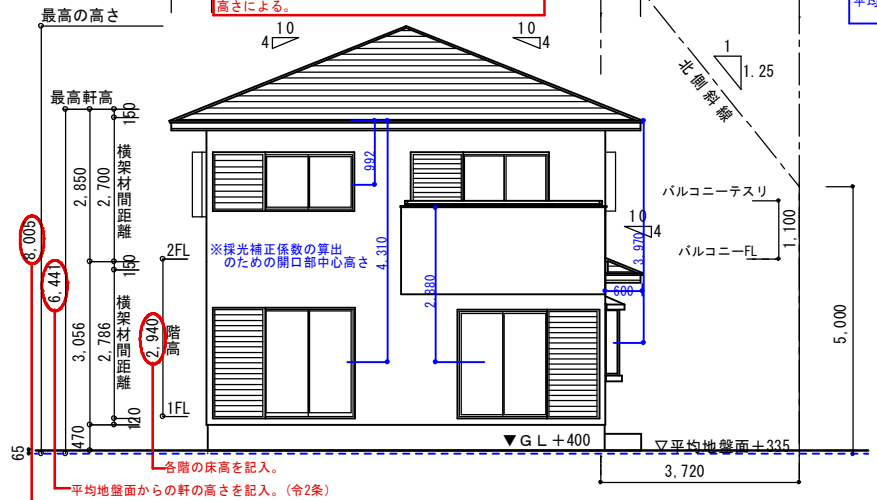
西側立面図 S:1/100



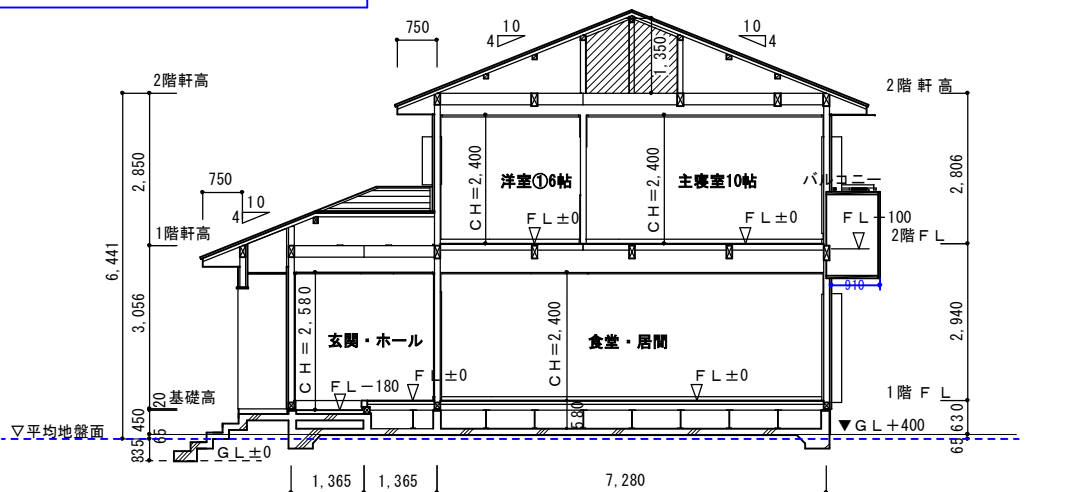
1面断面図 S:1/100

$$\text{平均地盤面} = \frac{0.4 \times (5.005 + 10.920 + 7.280 + 7.280)}{2.275 + 3.64 + 5.005 + 10.920 + 7.280 + 7.280} = 0.335\text{m}$$

前面道路の中心高さが起点となる。門・塙の位置・高さを記入。  
※令130条の12の適用は、前面道路の路面の中心からの高さによる。



南側立面図 S:1/100



2面断面図 S:1/100

<p>工事名</p> <p>熊本 太郎 邸 新築工事</p>	<p>一級建築士事務所 ○○センター建築設計事務所 一級建築士事務所 ○○○知事登録 第○○○○号 建築 次郎 一級建築士 ○○○○大臣登録 第○○○○号</p>	<p>図面名</p> <p>立面図・断面図</p>	<p>図面NO</p> <p>0-7</p>
<p>備考</p>		<p>縮尺</p> <p>1/100</p>	